

目標の設定及び達成に向けた考え方について (区作成)

【旭区】(受託者: 一般財団法人大阪市コミュニティ協会・(株) 関西総合研究所)

1 地域課題・ニーズ等の状況について

- ・高齢化が進んでいる。平成27年推計の65歳以上の人口比率 29.8%(24区中4番目)
- ・稼働層(25歳から39歳)の人口は、減少が顕著。
- ・住宅地が多い。
- ・地域振興会加入率は約7割。
- ・平成25年度末、全小学校下で地域活動協議会が設立された。
- ・地域活動協議会に対して、組織運営(会議運営、会計、広報等)とつながりの拡充について、重点的に支援を実施してきた。

2 当事業によりめざす状態

民主的で開かれた組織運営が確立され、会計の透明性が確保され、政治的・宗教的な中立性確保がされた地域活動協議会の自律的な地域運営により、新たな地域活動担い手の確保等を図られ、地域活動の持続性・継続性が確保されている状態。

3 当事業の目標

(1) 中長期の目標

平成 29 年度末までに、下記の3分野の目標を達成し、事業終了。

- ・組織運営について
民主的で開かれた組織運営、会計の透明性、政治的・宗教的な中立性を確保する。
総会等資料の作成支援、会議運営の支援、会計ソフト提供や講習等の支援
- ・つながりの拡充について
新たな地域活動の担い手の確保、地域活動の持続性・継続性を確保する。
構成団体同士の連携(構成団体長会議の定例・自主開催化)
構成団体でない活動主体との連携
世代間交流の促進(小中学生による防災組織の拡充 等)
広報・事業実施による関心が薄かった層の参加促進(フェースブック、かわら版 等)
- ・地域課題への取組
地域の課題を共有し、ビジョンを有する。

(2) 平成 27 年度目標

組織運営、つながりの拡充についての上記目標を達成する。

ア 「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組 (イメージ)」

【設定】 形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の項目を全て達成の他、ステージ2の各項目のうち、7項目を達成 (各区ごとに設定)

↓

【現在の状況】

達成: 10 地域

未達成 : 0 地域

イ 利用者アンケート調査

(7) 自律的な地域運営

【設定】・地域運営にさまざまな活動主体が参画し、地域課題を解決しながら、地域が一体となって運営されていると感じている割合 60%以上

・中間支援組織による支援が、地域にとって適切であり、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると感じている割合 50%以上

↓

【現在の状況】

まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4)

26.8% (①そう思う 12.2% + ②ややそう思う 14.6%)

(4) 中間支援組織の活用

【設定】中間支援組織による支援が、地域にとって適切であると感じている割合 60%以上

↓

【現在の状況】

まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1)

52.8% (①そう思う 24.7% + ②ややそう思う 28.1%)

ウ 区独自目標 (仕様書記載)

なし

エ 区独自目標 (協議により設定)

なし

4 当事業による支援の方針

地域課題を共有しながら活動できる校区等地域を単位として、各種地域団体や企業、NPO等、多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を発揮し、さまざまな地域課題に取り組む地域活動協議会が、自律的に地域運営を行う活力ある地域社会をめざす。

5 目標達成に向けた戦略

地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するさまざまな活動主体が幅広く参画し、民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域運営に取り組む活動を積極的に支援するため、自律的に地域課題の解決に取り組む地域活動協議会の運営支援に取り組む。